

5. 学び合い 人と文化を育むまち



学校給食費の保護者負担を軽減

フリースクール等利用児童生徒の民間施設使用料を助成 **新** 420万円

学校給食費の保護者負担軽減 1億1,088万円

小学校の給食費の完全無償化、中学校の給食費を一部市が負担することで保護者の負担の軽減

中学校部活動の地域展開に向けた活動を推進 2,767万円

子どもの権利条例の啓発事業を実施 **新** 16万円

令和7年9月に公布された「安曇野市子どもの権利に関する条例」の目的・基本理念などの理解を深めるための普及・啓発

第118回日展安曇野展の開催 **新** 600万円

令和4年以来2回目となる日展安曇野展への負担金

地区公民館建設補助制度の拡充 1,250万円

照明のLED化と省エネエアコン設置工事を新たに補助の対象に追加

信州やまなみ国スポ・全障スポのための施設整備 7,208万円

令和10年の開催に向けてウエイトリフティング会場となる穂高総合体育館の施設整備を実施

全日本自転車競技選手権大会への補助 1,331万円

国内トップ選手が多数参加する大会を市マウンテンバイクコースで開催

体育施設にスマートロックを導入 **新** 217万円

施設の鍵の貸出・返却をスムーズにするためスマートロックシステムを導入



市マウンテンバイクコースで全日本自転車競技選手権大会を開催

6. みんなでともにつくるまち

第3次総合計画策定に向けた取組み **新** 353万円

市政運営の基本計画となる第3次総合計画の策定に向けて調査と審議会を開催

書かない窓口・デジタル窓口の拡充 1,279万円

マイナンバーカード読取りシステムを市役所に4台追加・支所に1台ずつ設置

マイナンバーカード申請等のオンライン窓口の設置 1,980万円

市民活動サポートセンターを堀金支所に移転 38万円

相談窓口・情報コーナー・市民活動団体などが利用できるフリースペースが一体化した市民活動を支える拠点の運営（23ページ参照）

地域力向上に向け自治会スクールの実施 **新** 583万円

自治会の担い手不足解消に向けて専門家による自治会スクール（仮称）を実施



第2次総合計画後期基本計画の計画書

3. 安全で安心に暮らせるまち



トイレカーを導入し災害時の安全・安心を確保

災害に備えけん引型トイレカーの導入 **新** 584万円

災害時物資集積拠点立ち上げ訓練の実施 **新** 117万円

消防団詰所統廃合による新詰所整備 344万円
第9分団第1部と第3部の詰所を統合

物資集積拠点立ち上げ訓練とは

災害時の円滑な支援物資の受け入れ、避難所などへの配送を行うため物流会社と協定を締結しています。それに基づき昨年度に支援物資集積拠点マニュアルを策定しました。本年度はそのマニュアルをもとに訓練を行います。

4. 自然と暮らしやすさが調和するまち



国道19号から松糸道路へのアクセス道路を整備

ゼロカーボン推進の取組み

地域脱炭素化推進事業補助 9,045万円

住宅用太陽光発電設備への補助 2,735万円

公共施設照明LED化 3億767万円

松糸道路整備に伴うアクセス道路の整備 5億3,855万円

県が進めている松本糸魚川連絡道路の整備に合わせて国道19号から明科IC（仮称）へのアクセス道路を整備

合葬式墳墓（2号基）の建設 8,547万円

穂高墓地公園に2基目の合葬式墳墓を整備

ふるさとワーキングホリデーの実施 **新** 300万円

移住希望者と担い手が不足している事業者をつなぐ短期生活体験プログラムを実施

豊科駅前トイレと中萱駅前トイレを改修 **新** 6,722万円

老朽化が進む駅前トイレをユニバーサルデザインのトイレに改修

空家意向調査の実施 **新** 315万円

市役所にマイボトル専用の無料給水スポットを設置 **新** 56万円

豊科南部総合公園にロゴオブジェ「AZUMINO」を設置 **新** 565万円

新たな安曇野ブランド発信ツールとして「AZUMINO」を立体的に表現したロゴオブジェを設置



移住希望者が市内に滞在しながら安曇野の暮らしと仕事を体験するワーキングホリデーを実施



写真提供：信州大学

信州大学が開発した浄水機能を持つ給水機sweeを市役所に設置

地域脱炭素化推進事業とは

環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用。PPA（電力購入契約）方式で公共施設などへ太陽光発電設備・蓄電池の設置を進めています。また、きのこ培地等からバイオマス燃料を製造し、温浴施設へ加温設備を導入し脱炭素化を推進します。